

残存型枠工法

プロテロックは型枠として使用し、取外すことなく構造物の表面を形成することができます。

特長

●建設副産物の発生抑止

残存型枠であるため、コンパネや発泡スチロール等の建設副産物の発生を抑止します。

●省力化（支保工が不要）

型枠パネルを金具で連結して組み立てるだけで型枠の解体作業が不要となり、工期と労力を削減します。

●Wカチオン塗装処理要

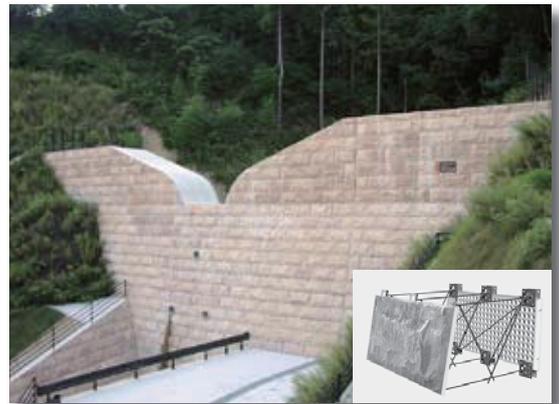
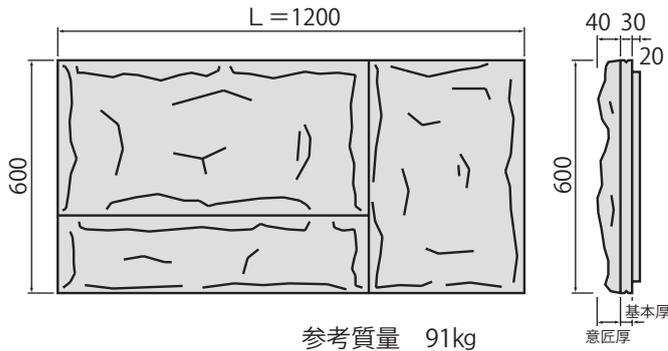
パネル内部のエクスパンドメタル及び専用の取付金具はWカチオン電着塗装を施しているため優れた防錆効果を持っています。

●景観性の向上

工場で製造されるため、表面が綺麗に仕上がり、着色等により周囲に適した景観を創造します。

プロテロックメーク（残存化粧型枠）

NETIS掲載期間終了技術



砂防堰堤

※上記サイズのほか600×600サイズもあります。

※コンクリートの打ち継ぎは必ずパネルとパネルの合わせ目と揃えて下さい。パネルにひび割れが発生する場合があります。



砂防堰堤



擁壁

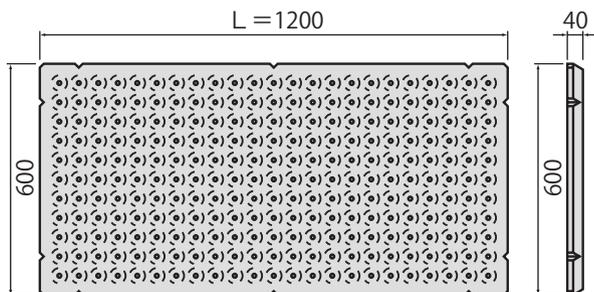


水路護岸

プロテックピアスワンダー（残存型枠）

NETIS掲載期間終了技術

ピアスタイプ



参考質量 50.0kg

※ピアスは壁背面の型枠として、また目地部の型枠として使用します。

※コンクリートの打ち継ぎはパネルとパネルの合わせ目と揃えて下さい。パネルにひび割れが発生する場合があります。



梱包状況



残存型枠設置状況



下流側採用（完成）



上流側採用（完成）